

みずほCustomer Desk Report 2019/09/17 号(As of 2019/09/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	107.76	1.1084	119.40	1.2497	0.6878
SYD-NY High	108.17	1.1095	119.51	1.2515	0.6884
SYD-NY Low	107.44	1.0994	118.70	1.2313	0.6854
NY 5:00 PM	108.15	1.1002	118.96	1.2426	0.6866
NY DOW	27,076.82	▲ 142.70	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,153.54	▲ 23.17	日本10年債	-	-
S&P	2,997.96	▲ 9.43	米国2年債	1.7563	▲4.57bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.6966	▲6.00bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.8423	▲5.79bp
シカゴ日経先物	21,790	▲ 125	独10年債	-0.4830	▲3.45bp
ロンドンFT	7,321.41	▲ 46.05	英10年債	0.6890	▲6.95bp
DAX	12,380.31	▲ 88.22	豪10年債	1.1830	1.50bp
ハンセン指数	27,124.55	▲ 228.14	USDJPY 1M Vol	6.58	0.23%
上海総合	3,030.75	▲ 0.48	USDJPY 3M Vol	6.60	0.10%
NY金	1,511.50	12.00	USDJPY 6M Vol	6.63	0.10%
WTI	62.90	8.05	USDJPY 1M 25RR	-1.45	Yen Call Over
CRB指数	183.17	8.37	EURJPY 3M Vol	6.86	0.06%
ドルインデックス	98.65	0.39	EURJPY 6M Vol	7.02	0.01%

東京	週明けのドル円相場は、前週末にサウジアラビアの石油施設が無人機に攻撃されたとのヘッドラインを背景とした中東の地政学的リスク懸念の高まりから、アジア時間早朝に一時107.44まで下落。107.76レベルでオープンした。但し、地政学的リスクに対する反応一巡後は上昇に転じ、午後にかけて107.90まで上昇した。もっとも、東京休場により取引閑散である他、地政学的リスクに対する海外勢の反応を見極めたいとする思惑から上昇後は動意の薄い展開となり、107.84レベルで海外時間へ渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.84レベルでオープン。地政学リスクへの懸念は引き続き強く、ドル円の上値は重く推移し107.80レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2463レベルでオープン。先週末に英野党がEU離脱阻止政策を正式に採用、朝方にラフ外務相よりEUとの合意は可能、2回目の国民投票は行わないとのヘッドラインが流れるも、ジョンソン英首相とユンケルEU委員長との会談を控えて、ポンドは徐々に下落し1.2438レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	週末に世界製油供給の5%を産出するサウジアラビアの国営石油会社の石油施設がイランの武装勢力の無人機に攻撃され、リスク回避の円買いが海外市場で強まり、ドル円は107.44まで下落する局面もあったものの、その後は有事のドル買いが徐々に強まる動きに値を戻し、107.80レベルでNYオープン。朝方は、9月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を下回ったものの、ドル円の反応は限定的となる。その後は本日が米企業の第3四半期推定のコーポレート・タックスの支払期限であることからドルファンディングコストが上昇する中、ドル円もじりじりと上昇し、ライトハイザー米通商代表部代表が次官級の米中通商協議が20日金曜に開かれる可能性と話したと伝わったこともあり、108.09まで上昇する。午後は108円ちょうど付近での推移が続くが、終盤に掛けてドル買いが再び強まり、108.17まで上昇し、108.15レベルでクロスした。一方、ユーロドルはサウジアラビアの石油施設が攻撃されたことを受け、海外市場でドル買いが強まり、1.1030レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎドル買いが継続したことから、1.0994まで下落する。今週はFOMC結果発表を水曜に控え、狭いレンジが続く中、1.1011まで戻す局面もあったものの、終盤に掛け再びドル買いが優勢となり、1.0999まで反落し、1.1002レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田

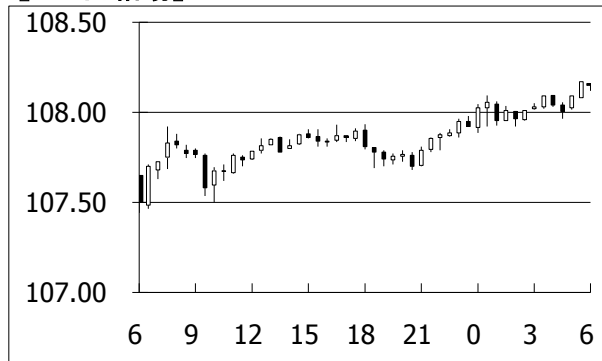
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月13日	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	8月 0.4%	0.2%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	9月 92.0	90.8
9月16日	11:00	中 小売売上高(年初来前年比)	8月 8.2%	8.3%
	11:00	中 固定資産投資(年初来前年比)	8月 5.5%	5.7%
	11:00	中 鉱工業生産(年初来前年比)	8月 5.6%	5.7%
	23:00	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	9月 2.0	4.0

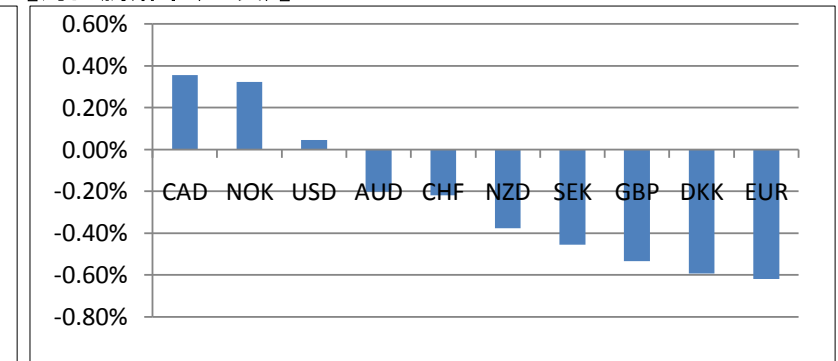
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月17日	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	9月 -15.0/-38.0	-13.5/-44.1
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	8月 0.2%	-0.2%
	22:15	米 設備稼働率	8月 77.6%	77.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.70-108.50	1.0950-1.1050	118.40-119.60

【マーケット・インプレッション】

13日のドル円は動意薄の推移。アジア時間に米中通商協議への進展期待からドル円は一時108.26円まで上昇するも、ロンドン時間には中国政府が市場安定に動いているとの見方から一時107.70円まで下落。その後、発表された米8月小売売上高が市場予想を上回る結果であったことからドル円は108.10円台まで反発した。16日のドル円は小幅に上昇。サウジアラビアの石油関連施設が攻撃を受けたことから地政学リスクが高まり、アジア時間早朝のドル円は一時107.44円まで下落。NY時間に渡り、実需勢の買いフローやライトハイザー米通商代表部が次官級の米中通商協議を20日に開く可能性に言及したことを受け、ドル円は一時108.17円まで反発した。本日のドル円は動意薄の推移を予想。19日にFOMC政策金利発表を控え、市場は様子見ムードが強まるものと考えられる。